

理学部 化学生物環境学科

—学位授与・教育課程編成・入学者受け入れの方針—

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【前提となる教育理念】

化学生物環境学科は、自然科学に関する幅広い基礎知識や各コースの専門的な知識・技能を修得し、急速に変化する現代社会の理系分野において自ら課題を見出しその解決に取り組むための能力を身につけるとともに、自然科学に関する基礎および専門知識やそれらにもとづく論理的思考力を社会で役立てるために必要なコミュニケーション能力を持つ人材の育成を目指しています。専門知識の習得のために化学生物環境学科は学科内に3つのコース（化学コース、生物科学コース、環境科学コース）を設けています。

【身につけるべき力】

- ・自然科学に関する幅広い基礎知識に基づいて自然科学に関する事象を俯瞰し理解する能力
- ・専門分野の高度な知識や技能をもとに、自ら課題を発見しその解決に取り組む能力
- ・基礎および専門知識やそれらにもとづく論理的思考力を社会の様々な場面で役立てるためのコミュニケーション力

【学位授与の要件】

化学生物環境学科の所定の単位を修得し、上記に示す素養・能力を身につけた学生に学士（理学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【カリキュラム構成の基本方針】

化学生物環境学科では、化学・生物科学・環境科学だけでなく数学・物理学・情報科学をも含む広範囲なカリキュラムの中から、自らの目標に応じて幅広い基礎知識やコースにおける専門知識・技能、さらにはそれらの応用・実践能力を修得するよう、必修科目・選択必修科目・選択科目等を系統的に履修していきます。専門を深く学ぶために本学科には、化学コース、生物科学コース、環境科学コースの3つのコースが設置されています。

【教育の内容と方法】

1年次では、主として学科共通科目や基礎的なコース専門科目を履修し、自然科学に関する幅広い

基礎知識を修得します。

2～3年次では、次第に専門性を高めつつ、コース専門科目を系統的に履修し、専門的知識や技能を身につけます。

4年次には卒業研究や課題研究の履修を通して先端研究に参画しながら、これまでに身につけた知識や技能を実際に応用し実践する能力を培うとともに、学生自らが学び考えながら、課題を発見する力とそれらの解決に意欲的に取り組む能力を身につけます。また、卒業研究発表等を学生が主体的に行うことで、論理的思考力とそれらにもとづくコミュニケーション能力を培います。

【学修成果の評価】

学修成果は、試験、授業外レポート、演習や卒業研究の内容などによって評価します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

化学生物環境学科では、化学、生物科学、環境科学が連携した理系共通基礎教育とそれらの実践的な専門教育を通して、物質や生命とそれらをとりにまわす自然環境を総合的にとらえる視野をもち、様々な分野で活躍できる理系女性人材を育てることを目指します。

【求める学生像】

化学生物環境学科では、自然科学全般への興味と高い学習意欲を持ち、将来は社会において人類が直面する諸問題の解決に取り組む意欲のある学生を求めます。そのため、高校の数学や理科を広く学んでいること、特に理科（物理、化学、生物、地学）の中から少なくとも2科目を深く学習していることが必要です。また、現代の自然科学を学習する上で英語は必要不可欠ですので、十分な英語の能力を備えていることを希望します。また、日本語を正しく理解し・表現する能力も求められます。

【入学者選抜の基本方針】

化学生物環境学科は、一般選抜では前・後期日程ともに志望するコースを複数選択した入試になります。

一般選抜（前期日程）

高等学校における学習の基本的達成度を問うため、大学入学共通テスト（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報）を課します。さらに、基礎的学力と論理的思考力を問うため、個別学力検査として、外国語（英語）、数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）、理科（[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、[生物基礎・生物]から2科目）を課します。合格判定は、入学試験成績（大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績の合計）および調査書の内容を総合して行います。

一般選抜（後期日程）

高等学校における学習の基本的達成度を問うため、大学入学共通テスト（国語、地理歴史・公民、

数学、理科、外国語、情報)を課します。さらに、基礎的学力と論理的思考力を問うため、個別学力検査として、数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)、外国語(英語)を課します。合格判定は、入学試験成績(大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績の合計)および調査書の内容を総合して行います。

学校推薦型選抜

出身学校長が学業・人物ともに優秀と認め、責任をもって推薦する女子を選抜するため、学校推薦型選抜を行います。書類審査(推薦書、調査書)および大学入学共通テストの成績を総合して合否を判定します。大学入学共通テストは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報を課します。推薦書、調査書、志望理由書は高等学校等における学習の到達度、学習意欲、専門分野における適性などについて評価し点数化します。

総合型選抜 探究力入試「Q」

基礎学力、思考力、表現力、探究力を総合的に判断するために、大学入学共通テストを判定に用いない独自の総合型選抜を行います。コースごとに第1次、第2次選考を行います。

化学コースでは、第1次選考を提出書類により行います。第2次選考は、資料をもとに与えられた課題についてのレポートの作成と口述試験により、総合的に判断します。第2次選考の結果によって最終合否判定を行います。

生物科学コースでは、第1次選考を提出書類により行います。第2次選考は、生物実験の実施と結果の取りまとめ、および面接によって、総合的に判定します。第2次選考の結果によって最終合否判定を行います。

環境科学コースでは、第1次選考を提出書類により行います。第2次選考は、提出書類のうちの「研究レポート」について発表を行った後、質疑応答を行います。第2次選考の結果によって最終合否判定を行います。

高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試

奈良女子大学附属中等教育学校を含む対象校※において、高大接続文理統合探究コースを受講し修得見込みの者を対象に、コースごとに、探究活動の発表、現在までの探究活動の報告、調査書、志望理由書、高大接続文理統合探究コースの履修状況等をもとに、適性等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

私費外国人留学生を選抜するため、大学入学共通テストを課さずに、独自に行う学力検査、面接の成績、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績、TOEIC 又は TOEFL の成績を総合して合否を判定します。基礎的学力等と日本語の理解力・表現力を評価します。化学コースでは学力検査として化学を課し、面接(口頭試問を含む)を行います。生物科学コースと環境科学コースでは、それぞれ面接(口頭試問を含む)を行います。

第3年次編入学入試

第3年次編入学入試の一般選抜は、各コースで学力検査（筆記試験および口述試験）の成績、成績証明書を総合して合否を判定します。筆記試験の科目は化学コースでは化学を、生物科学コースでは生物学（英語を含む）を、環境科学コースでは数学を課します。化学コースでは編入学入試の推薦選抜を行い、面接（口頭試問を含む）、推薦書、志望理由書、成績証明書を総合して合否を判定します。

※対象校については本学ホームページ「学部入試（学生募集等）」に別掲